

自防連だより



「自防連だより」は、
共助の大切さと
ともに地域防災力の
向上を推進するた
めの、市内各自主防
災団体の情報交換
の場です。

八王子女性防火協会にインタビュー！～地域を守る女性たちの思いとは～

八王子女性防火協会（以下、女性防という。）は、令和6年11月29日に財団法人日本防火協会より優良女性防火クラブとして表彰されました。この表彰は、全国各地から長年にわたる活動や地域の防火防災に多大な貢献をしてきた団体を選出され全国で25団体、都内で唯一表彰された大変名誉あるものです。

女性防は、「家庭の防火は私たちの手で」をスローガンに、女性の立場で家庭と地域防災力の向上と防火防災思想の普及を目的とし、地域の防災訓練等に参加しています。他にも各種研修を企画し、防災知識・技術の向上を図っています。

（詳しくは、下記の二次元コードからホームページをご覧ください。）

そんな地域の安全を守る活動を行っている女性防から高橋会長、古川支部長、矢島支部長にお話を伺いました。活動のやりがいや苦労したことなど、卒直に語っていただきました。

Q1. 入会された経緯を教えてください。

私たちはそれぞれ違う経緯で入会しましたが、共通しているのは「他薦」によるものです。最初は戸惑いもありましたが、会員のみんなと和気あいあいと活動していると楽しくて、あっという間に時間が過ぎ、今に至ります。

Q2. 活動されてよかったことを教えてください。

地域関係なく、様々な方と知り合いになれたことや防災について勉強できたことがよかったと思います。また、防災訓練を企画し、消防署を巻き込んで子供たち、お年寄りにも興味を引く出し物などを考えて、参加者に喜んでもらったことも嬉しかったです。

でも、一番よかったことは多くの団体に受け入れられ、女性防を認めてもらえたことです。町会長を訪ね、女性防の活動を宣伝したり、各地の防災訓練にも積極的に参加しました。それでも中々認めてもらえず、苦しい時期もありましたが、認められたときは、自分自身が認められたようで達成感がありました。

Q3. 今後の防災について、どのようなことが必要だと思いますか。

町会などの会員数減少や高齢化も進んでいますが、災害はいつ来るかわかりません。その中で女性の力は必ず必要だと思います。将来、女性の自主防災隊長を担うための人材育成ができる場として女性防も共に協力していきたいです。

Q4. 宣伝等がありますか。

3月に会員募集があります。ご興味がある方は、是非応募してください。私たちと一緒に八王子市の防災意識向上のために活動していきましょう。

【お問い合わせ先】八王子消防署警防課 防災安全係 042-625-0119



女性防ホームページ

インタビューをして、女性防の皆さんの明るく前向きな姿勢がとても印象的でした。自防連事務局としても勉強になるととても貴重な時間でした。今後も女性防との連携を密にし、八王子市の防災力底上げを支援していきたいです。



優良女性防火クラブの伝達式



防災訓練での女性防ブースの様子

令和6年度事業レポート



令和7年2月22日に開催された「リーダー養成研修」をもちまして、本協議会の令和6年度事業は無事にすべて終了いたしました。今回は、本協議会初の研修先であった、「陸上自衛隊視察研修」と「リーダー養成研修」について報告します。

陸上自衛隊視察研修

1月23日に陸上自衛隊朝霞駐屯地で視察研修が実地されました。一般人立ち入り

禁止である朝霞駐屯地へ入れる機会ということもあり、募集期間が短期間であったにも関わらず、過去最大の申込件数となり、皆様から自衛隊への興味が伝わってきました！

午前中は陸上自衛隊広報センターを見学。午後はいよいよ朝霞駐屯地へ入門。お昼に自衛隊食堂で自衛隊員たちが普段食べている自衛隊定食を頂き、隊員たちのパワーの源を堪能しました。自衛隊の装備説明や、自衛隊の訓練方法、災害についての知識等を講話頂き、秘密に包まれている自衛隊という組織の一端を垣間見ることができました。

能登半島地震により、自衛隊がより身近に感じられるようになっていることもあり、普段知ることが出来ない自衛隊について、見て触って聞くことができ、参加者は楽しく学べた様子でした。



部隊説明等の講義



自衛隊式積み土のう工法

リーダー養成研修

2月22日のリーダー養成研修では、77名の方が土砂災害により亡くなった「平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害」を経験された、

広島市豪雨災害伝承館の副館長・松井 憲 様に御講演頂きました。皆様が普段目にする土砂災害警戒区域等は、この激甚災害を受けて法律が改正され、誕生しました。八王子市も都内では有数の土砂災害警戒区域等が存在する市であり、皆様興味深く傾聴されていました。

また、今年度は初の二部構成であり、能登半島へ災害応援に出向した八王子消防署職員からも講話を頂きました。地元八王子消防署からも能登半島へ出向していたことを知らなかつ



研修の様子

た方も多いのではないのでしょうか。派遣された職員は過去にハイパーレスキュー隊に所属しており、災害の最前線で活躍した経験があります。今回の派遣では、全国の消防隊員が現場で活動するための後方支援業務に従事されました。後方支援に従事した結果、最前線の隊員たちが活動し続けるために、後方支援がいかに大切かということを理解した、と語っていました。自主防災組織での活動においても、多くの裏方の活躍があって初めて幅広い共助の活動が出来るようになります。被災した側・救助する側という二つの側面の講話を同時に聞くことができ、今後の自主防災組織活動に取り入れるべきヒントが多分に含まれていた研修でした。



左から中村防災課長、松井講師、入野消防司令補、遠藤会長

新規研修先、大募集！！

事務局では、新しい研修先を募集しています。「あそこの施設に行ってみよう」「この研修はすごいらしい！」等々、皆様からの幅広いご意見をお

待ちしています。自防連事業として、防災館研修を毎年開催していますが、それ以外に、新しい試みを毎年企画しています。皆様からのご意見を集めることで、より会員の皆様にとって有意義な事業となるよう、工夫を凝らして参ります。

※必ずしもご希望の研修先で事業が実施されるとは限りませんが、当協議会加盟の439団体からの意見として、役員会で審議の後、事務局が施設側と交渉をいたします。

以下は、近年の例になります。※研修先の要望により、詳細な場所は伏せてあります。

皆様からのアイデアを、ぜひ事務局までお寄せください。みんなで自防連事業をより良いものにしていきましょう。

1	気象庁	気象科学館見学&気象予報士による天気についての講義
2	東京電力	関東有数の規模を誇る変電所施設内の見学&災害時の電力の備えについて学習
3	東京消防庁	ハイパーレスキュー訓練施設にて、訓練見学&特殊消防車両の視察
4	警視庁	機動隊訓練施設にて、土のう作成&作成した土のうによる止水効果の検証

大地震発生時の初動強化の取り組み

長池公園に隣接する私たちレーベンスガルテン長池Ⅱ団地管理組合では、防災委員会のメンバーを中心に、大地震発生時の初動強化に取り組んでいます。今日はその中で代表的なものを取り上げご紹介いたします。

■防災サポーターによる安否確認

当団地は10棟からなり、災害発生時には戸別訪問による迅速な安否確認が求められます。そのため防災サポーター制度を設け、多くの住民のご参加をいただきながら毎年訓練を行い、継続的な改善を進めています。

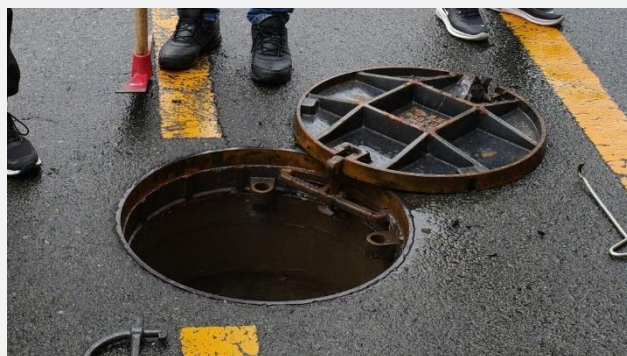


■防災に関する住民参加イベントの開催

防災訓練、炊き出し訓練、防災セミナーなど、防災意識向上のためのイベントを毎年実施しています。それぞれ多くの住民にご参加いただいておりますが、防災意識の継続的な向上のため、住民間で意見交換する機会や、楽しみながら防災意識を高められるイベントなどの企画も進めたいと考えています。

■トイレ等排水管の損傷確認方法の確立

震度5強以上の大地震の場合、マンションの排水管が損傷し、上の階の排水が下の階で逆流してあふれる恐れがあります。そのため各戸の特にトイレの使用を一時的に禁止し、排水管の損傷がないことを確認した上で利用可と周知することを目指しています。



当団地では、図面での各棟の配管の確認や、実際に上階からテスト用のボールを流して排水管異常がないことを確認する訓練など、必要時に確実に確認できるよう対応を進めています。

なお、専用工具がないとマンホールを開けるのが難しいことは、やってみて初めて分かりました。

■長池小学校地区 防災協議会への参加

災害時には、近隣組織間での協力や情報共有、公助との連携、救援物資の分配など、地域での連携も大切です。そのため当団地では長池小学校地区 防災協議会に参加し、地域の皆さまと一緒に防災に取り組んでいます。

■今後：富士山噴火への備え

大地震と共に富士山噴火による降灰被害への対策が必要との認識が当団地でも高まっています。今後は富士山噴火への備え、住民意識の向上なども進める予定です。

地震と富士山噴火への備え

地震：最低1週間分を備蓄しましょう

- | | | |
|----------|--------|--------------|
| 1. 食料 | : 3食分 | × 7
× 家族分 |
| 2. 水 | : 3ℓ | |
| 3. 携帯トイレ | : 5セット | |

東京備蓄ナビで、家族構成に応じた備蓄品と数がすぐわかります！

<https://www.bichiku.metro.tokyo.lg.jp/>



富士山噴火：さらに以下が必要

1. 通気口へのフィルタ追加
2. 防塵マスク：2週間分
3. ゴーグル
4. レインコート、ポンチョ等

- ・ 火山灰は土埃ではなく細かなガラス片です
→ 目や肺に入ると危険
- ・ ベランダの排水口から流すと詰まります
→ 水で流すことは禁止
→ 各戸ゴミ袋等に回収して流出を防ぐ



八王子市：火山噴火への備え



噴火.com

レーベンスガルテン長池Ⅱ防災委員会 - 2024/9

「八王子市地域防災計画」(以下、地域防災計画という。)が修正されました！

と言っても、「え？地域防災計画？それってなに？」という方が多いのではないのでしょうか。本記事を書いております、協議会事務局員の私も配属されるまでまったく知りませんでした。

実は八王子市では、市民の生命、身体及び財産を災害などから保護することを目的とし、市の防災に関する業務や対策などを定めた計画が策定されており、それが地域防災計画と呼ばれるものです。インターネットにも公表されています。分厚い冊子となっておりますが、一読すると、市の災害への備え・発災後の復旧復興についての考え方がよくわかります。市は災害について、「どのような考えをもっているのだろうか？」「ちゃんと準備をしているのだろうか」と不安に思われている方は、ぜひご一読ください。

注目すべき変更点は？

地域防災計画ですが、令和4年から3年ぶりに更新されました。感染症対策や防災DXについて、八王子未来デザイン2040(市政全体に関する上位計画)との整合性等々、色々ありますが、注目してもらいたいのが、震災対策です。

令和4年5月に見直された首都直下地震等における東京の被害想定や令和6年の能登半島地震における課題等を踏まえ、修正されました。市では、「令和12年度(2030年度)までに、多摩東部直下地震による人的・物的被害を概ね半減する」という新しい減災目標を発表しています。この減災目標を達成するための計画が地域防災計画に明記されていますので、来るべき大地震の前に、ご一読頂ければ幸いです。



地域防災計画ホームページ

【お問い合わせ先】八王子市役所防災課 危機管理計画担当 TEL：042-620-7207

「春、油断大敵！災害は季節を選ばない！」

春はぽかぽか陽気に誘われて、お花見やピクニックが楽しい季節ですね。でも、その「油断」が命取りかもしれません。災害は「桜を見ている場合じゃないよ！」と突然やってきます。

例えば、こんな春の災害対策を忘れずに。

1. 春の風に注意を

暖かい風は気持ちいいけど、強風が思いのほか激しくなることもあります。急速に発達した低気圧は「春の嵐」、「メイストーム」と呼ばれ、台風並みの暴風になることもあります。2014年4月2日に山形県酒田市では最大瞬間風速51.1m/sを記録しました。最大瞬間風速51.1m/sってどのくらい？と思いますよね。例えば、「ちょっとコンビニ行ってくる」と外に出たら最後。気づけば飛ばされるレベルです。気象には十分注意して、状況によっては家に留まる等の必要な対策を取りましょう。

2. 花粉も災害!?

くしゃみで目が開けられず、避難の途中でつまずく…なんてことにならないように、マスクやティッシュ、目薬を常備しておきましょう。これらの災害時の備蓄にも入れておく心安いですね。

3. 梅雨前の備え

春の陽気に気を抜いていると、すぐに梅雨がやってきます。今のうちに屋根の点検や排水溝の掃除をしておけば、「梅雨に大慌て」なんてことも防げます。

この春を安全に、そして楽しく過ごせるよう、ほんの少しの「備え」で災害に負けないようにしましょう！

「八王子の春、備えあれば憂いなし！」

《お知らせ》自防連だよりは、メールでのPDFデータ配信も行っています。ご希望の団体は、右記メールアドレスまで、ご連絡ください。



八王子市自主防災団体連絡協議会事務局

八王子市役所2階防災課内

電話 042-620-7207 FAX 042-626-1271

Eメール b210300@city.hachioji.tokyo.jp

